



港 防災だより

No.15

2014年（平成26年）3月20日

発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 奥村吉孝

『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。

（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化率 40.3%）

これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

■企業との連携による防災活動

四日市市石油コンビナート・沿岸地域防災連携会議について

この会議体は昨年設置され、新たな活動を開始しております。

大規模な地震、津波の発生に備えた予防対策、並びに発生後の対応等について、石油コンビナート・沿岸地域の自治会、自主防災組織、事業所、行政が意見交換等を行い、情報の共有化、相互の協力体制を築くことを目的としており、港地区からは奥村会長が参加しています。

この活動内容につきましては、適宜報告して行きたいと考えています。

3月 導管管理状況報告会開催（予定）

地区内に導管を敷設している企業5社（コスモ石油社、東ソー社、三菱化学社、中部電力社、東邦ガス社）から、この一年間の導管の点検結果等につき定期報告を受けました。（異常なし）

この報告会は毎年開催されております。

5月 コスモ石油（株）

定期整備説明会開催（予定）

平成26年度に実施される全てのプラントの定期整備計画につき説明を受けます。

この説明会は毎年開催されております。

主な総会の予定

5月9日（金）13時30分～

港地区自主防災組織連絡協議会／防災連携企業代表者会議

6月8日（日）9時30分～

港地区自主防災組織連絡協議会総会

トピックス

『防災まちづくり、そして男女共同参画』に参加して

白峰 圭子

昨年12月1日(日)、なやプラザ 社協会議室において、地域講演会と懇談会が開催されました。この事業は、内閣府の支援事業として四日市市男女共同参画センターを中心に港地区連合自治会、港地区社会福祉協議会との連携により開催されました。当日は、港地区自主防災関係者はじめ地区住民、他地区の参加者でおよそ80名の出席がありました。講演会は、『もりおか女性センター長』田淵八重子氏より避難所の状況及び、避難所設営のあり方等、具体的なお話がありました。その後の懇談会では5つのグループに分かれて、各グループ共、活発な本音の話合いとなり、防災はもとよりこれからの社会は男女共同参画抜きではなりたたないことを感じた催しでした。

港地区『いきいきサロン、面白防災』

『ロコモーショントレーニング

笑和ホネホネクラブ』について

白峰 圭子

『いきいきサロン』の(面白防災)も回を重ね今年1月で138回となりました。

昨年11月は体験学習、なやプラザの周りをみんなで歩いて1周の歩数と時間を測り、何周出来るかを各々が体験し、自分の脚力ではどの避難所までいけるかを調べてみました。1、2周は皆軽く歩けましたが、4周、5周となるにつれ3分の1になってしまいました。部屋に戻り自分が歩行して行くことの出来る避難所を考えましたが、本町プラザが大半で、総合会館はかろうじてというところ、中部中学校は「とてもとても」という状態でした。12月はちょっと息抜きで忘年会とし、いろいろ楽しみました。中でも寸劇『面白笑劇場』は迷役者の演技に抱腹絶倒の渦、ここだけではもったいなく旅公演に出ようかというくらいでした。

『ロコモーショントレーニング 笑和ホネホネクラブ』は災害に強い体づくりを基本に日常の健康づくりにも多いに役立ち、回を重ねる毎に参加者が増え、毎回楽しい雰囲気体操をしています。昨年12月には体操の後、かわいいクリスマスケーキを皆で作り、美味しい楽しい息抜きの時間を持ちました。ちなみに指導してくださるのは、稲葉町出身の田中庸介先生です。



お知らせ

☆昨年9月29日(日)津波避難訓練を実施しました。本件は、No.13(号外)にて詳細させていただきました。

☆2月6日(木)防災まちづくり大賞を受賞しました。本件は、No.14(号外)にて詳細させていただきました。



避難所運営訓練（HUG）実施される！

本年度は、「みえ防災コーディネーター」の下、7月28日（住民と企業参加）9月8日（7/28参加不可能者）と二回実施しました。港地区バージョンの課題を作成してのHUG体験は、避難所では何が起こるか・避難所では何を考えるかを皆で楽しみながら学びました。

この訓練は平成26年にも実施されます。

「私たちのまち（港地区）の防災」改訂予定

「南海トラフ巨大地震」及びそれに伴う津波による甚大な被害発生等に対応するための「マニュアル」を最新情報をもとにH26年度に見直しを行います。より安心できる避難所とするために男女共同参画の視点から避難所運営を見直し、《共に支え・助け合う地域づくり》が反映されたマニュアルにいたします。

平成25年度グループ別防災訓練は全グループが終了しました！

稲場町・北納屋・浜町1～3区グループ・津波避難訓練	(1/26)
高砂町グループ	タウンウォッチング (3/10)
千歳町グループ	防災テーマに対する意見交換会 (3/6)
尾上町グループ	津波避難訓練 (2/27)
南納屋町・西末広町グループ	津波避難訓練 (2/23)
中納屋町・蔵町・相生町	発電機・消火器操作訓練 (3/19)

《文化財防火デーにかかる訓練》

中納屋町「大入道」と南納屋町「鯨船」に対する防火訓練がそれぞれ隔年で、毎年行われています。本年度は南納屋町「鯨船：明神丸」の年に当たり、1月26日（日）に実施されました。訓練は「南納屋町集会所から出火し、住民の初期消火にもかかわらず、火災は延焼拡大し、鯨船山車収蔵庫への延焼が危惧される」との想定でした。自治会（保存会）により、①火災発見119番通報 ②消火器での初期消火 ③鯨船の搬出を行った後、出動指令を受け、「港第二市民防災隊」・「海上分団」・「中消防署」が出動し放水訓練を行いました。訓練終了後は資機材を撤収、整列して「点検報告」し、訓練講評を「訓練現地本部長（港分署長）」と「南納屋町自治会長（鈴木会長）」から頂きました。講評終了後、「各隊 解散」となり訓練は終了となりました。

皆様、寒い中、「鯨船搬出&消火活動」お疲れ様でした。



港第二市民防災隊 『倒壊家屋の中より人命救出』訓練

本年度は7月28日（日）に、港第二市民防災隊単独の【倒壊家屋の中より人命救出】の訓練を実施しました。訓練は、午前9：00～約2時間の予定で「中消防署」で行いました。内容は、1）倒壊家屋の中より人命救助 2）階段（昇り・降り）での要援護者 搬送です。「倒壊家屋の中より人命救助」では、初めに署員の方から挨拶があり、続いて訓練の内容説明がありました。①水を張った鉄製の水槽を倒壊家屋に見立てての訓練で、金テコと楔（くさび）を使って盤木を井桁に積上げ、水槽を段階的に上げて、隙間を作る作業です。作業は全隊員が指導を受け、交替で実働訓練をしました。②署内に移り、「要援護者」「負傷者」の搬送訓練では、「応急担架の作り方」、「イスでの搬送」、「背負っての搬送」等の指導を受け、同じく全隊員が交代で実働訓練をしました。



ボールで隙間を作る



楔を噛ます

《 隊員の皆様、大変 暑い中、ご苦勞様でした！ 》

《防災委員》

荒川 博	飯田剛生	家城宏光	池田輝雄	奥村吉孝
加藤忠明	加藤 亘	川崎光俊	糸内利雄	小崎重夫
鈴木完一	瀬川 宏	堤 明	堤 利臣	寺井 勝
中島守夫	長谷川雄俊	波多野 通	樋口俊夫	平尾隆俊
山田正幸				

（敬称略・五十音順）

《防災連携企業》

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭和電工ガスプロダクツ(株)		住友電装(株)	第一工業製薬(株)
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)
中部海運(株)	中部電力(株)四日市火力発電所		中日本建設(株)
東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)	日本板硝子(株)
日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)
日本トランスシティ(株)	(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)
三菱化学(株)	四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局

（五十音順）